



Life sounds brilliant.

Intuis3 カスタム取扱説明書

医療機器のクラス：管理医療機器
一 般 的 名 称：耳あな型補聴器
販 売 名：補聴器 Intuis3 カスタム
形 式：Intuis3 LS
Intuis3 CT
Intuis3 MC
Intuis3 CIC

機械器具73 補聴器
管理医療機器 耳あな型補聴器(JMDNコード:34672000)
販売名:補聴器 Intuis3 カスタム

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞

「相互作用の項参照」

MRI 検査をおこなう場合は、補聴器を検査室に持ち込まないでください。[誘導起電力による局所的な発熱で火傷のおそれがあります。また、磁気により本製品が MRI 装置に吸着されたり、故障する可能性があります。]

リモコン
miniPocket

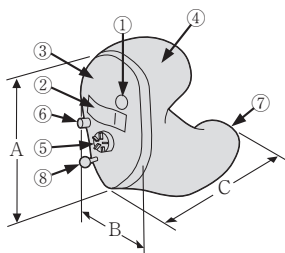


形 式	寸 法 (mm)			重量 (g)
	A	B	C	
miniPocket	57.5	34.0	12.8	15.0

許容公差±1.0mm、±1.0g

【形状・構造及び原理等】

a. 構成 本体 外観図



- | | |
|------------|------------|
| ① 音の入口 | ② 電池室 |
| ③ フェースプレート | ④ シェル |
| ⑤ ポリウム | ⑥ プッシュボタン |
| ⑦ 耳垢プロテクタ | ⑧ 取り出し用テグス |

b. 直接体に接触する部分の組成

- | | |
|-----------|-------------------|
| ・フェースプレート | セルローズアセテートプロピオネート |
| ・シェル | アクリル樹脂 |
| ・電池室 | ポリアミド樹脂 |
| ・ポリウム | ポリアミド樹脂 |
| ・プッシュボタン | ポリアミド樹脂 |
| ・取り出し用テグス | ポリアミド樹脂 |
| ・耳垢プロテクタ | ポリプロピレン |

c. 使用空気電池

形 式	使用電池	個数	電池寿命
Intuis3 LS	PR48/13型	1個	約216時間
Intuis3 CT	PR41/312型	1個	約125時間
Intuis3 MC	PR536/10型	1個	約80時間
Intuis3 CIC	PR536/10型	1個	約80時間

(電池寿命は、使用条件によって異なります)

形 式	寸 法 (mm)			重量 (g)
	A	B	C	
Intuis3 LS	20~30	10~25	15~30	1.0~5.0
Intuis3 CT	14~22	10~20	10~25	1.0~5.0
Intuis3 MC	12~20	7~17	12~25	1.0~5.0
Intuis3 CIC	12~18	6~15	10~20	1.0~5.0

※耳の形状により、寸法・重量が異なる場合があります。

d. 原理

補聴器機能時は、音を増幅して耳に伝える。

【使用方法等】

(詳細は取扱説明書を参照すること)

1. 補聴器の電源を入れる。
2. 補聴器を装用する。

*【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- (1) 幼児などの手の届かないところに保管してください。補聴器や電池を飲み込むと危険です。
- (2) 大きな音で聞き続けしないでください。さらに聞こえを悪くすることがあります。また、補聴器からピーピー音が発生するハウリング状態で使用し続けると、聞こえを悪くすることがあります。
- (3) 他人に補聴器を貸さないでください。他人の耳を傷めることがあります。
- (4) 補聴器を使用する前、あるいは使用中に次の症状がある場合には、使用を中止して耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
 - ・ 耳漏が生じたとき。
 - ・ 耳の治療が必要になったとき。
 - ・ 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
 - ・ 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ、湿疹が生じたとき。
 - ・ 使用すると頭痛や疲れが生じるとき。
 - ・ 補聴器の外観、音質、音量等に異常を感じたとき。
 - ・ めまいが生じたとき。
- (5) 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります(CTなどX線を使用する診断、マイクロ波治療器など電磁波を利用する機器、放射線による治療など)。医師に補聴器を外すかどうかお尋ねください。
- (6) 耳せん(イヤチップなど)を使う場合には、外れて耳の中に残るおそれがあるため、正しく取り付けてください。

<相互作用>

(他の医薬品・医療機器との併用に関すること)
【併用禁忌】

医薬品/医療機器の名称	核磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)
臨床症状・措置方法	補聴器を検査室に持ち込まないでください。
機序・危険因子	誘導起電力による局所的な発熱で火傷のおそれがあります。また、磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性があります。

<不具合・有害事象> (重大な有害事象)

かゆみやかぶれ(体質によって、かゆみ・かぶれを生じる場合があります。皮膚に異常を感じたときは使用を中止し、専門医に相談してください。)

<その他の注意>

- (1) 固い床の上など、落とすと壊れやすい場所で補聴器のつけ外しをしないでください。
- (2) 内部を針など尖ったものでつつかないでください。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

直射日光が当たる場所や高温・多湿の場所は避け、室温で保存すること。

<耐用期間>

本体：5年 [自己認証(当社データ)による]
※適正な使用環境と維持管理の基に、適切な取扱いで本来の用途に使用された場合、設計仕様書に記された機能および性能を維持し、使用することができる標準的な使用期間を意味する。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

取扱説明書に従って、指定の電池を使用してください。使用後は、補聴器のお手入れをしてください。

保守部品の保管期間：製造打ち切り後5年

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

シバントス株式会社 電話番号: 0800-888-0303

<製造業者>

Sivantos Pte. Ltd. (シンガポール)

このたびは Intuis3 カスタムをお買い求め頂き、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用前に

■補聴器の使用、性能についての注意事項

- 補聴器は聴力低下を補う医療機器です。他の目的には使用しないでください。
 - 補聴器は聞こえに合わせた調整をおこなう必要があります。必ずご自分にあった聞こえに調整してください。調整には専門の知識を必要としますので、補聴器の調整はお買い求めの販売店にご依頼ください。なお、この補聴器は、補聴器販売店の店頭における購入および当該販売店（または当該販売店の正式な委託を受けて補聴器の調整をおこなう者）による使用前の適切な調整を前提に製造・出荷されております。従って、通信販売などで本品を購入され、かつ適切な調整をおこなわずに本品を使用したことに起因してお客様に生じたいかなる事故もしくは被害も、当社は賠償・保証いたしかねますので、ご了承ください。
 - 補聴器は小さすぎる声、遠くの声、周囲の雑音が大きいときなどは十分に聞き取る効果が発揮できないことがあります。
 - 補聴器を使用しても聞こえが悪くなる前と同じ聞こえに戻るものではありません。また、聞こえには個人差があります。
 - 耳鼻咽喉科医師の受診を勧められたときは、ぜひ受診しましょう。
 - 聴力に変化があったり、使用する環境が変わったりすると、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は聴力測定を受けることをお勧めします。
- ※ この取扱説明書の内容は2019年4月のものです。製品の仕様、付属品、外観などは予告なく変更される場合があります。
- ※ 本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。


目 次


■ ご使用前に	4ページ
■ 安全上のご注意(必ずお守りください。)	6ページ
■ 付属品の確認	12ページ
■ 各部の名称	14ページ
■ 電池の取扱い.....	16ページ
■ 装用の仕方	20ページ
■ 操作の仕方	22ページ
■ アクセサリ.....	28ページ
■ 補聴器に慣れるためのアドバイス.....	29ページ
■ 補聴器の設定	30ページ
■ お手入れの仕方	32ページ
■ 故障かなと思われたときは	36ページ
■ 技術資料.....	37ページ
■ アフターサービスについて.....	38ページ

安全上のご注意(必ずお守りください)


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告：** この表示がある項目は、「人が死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意：** この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 **禁止：** この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■より快適なご使用のための方法を説明しています。

 よりよく補聴器を使用するためのアドバイスとヒントです。

- ☐ 形式やオプションによって異なる機能を示します。
- ☒ お買い求めの販売店に、該当する機能にチェックを付けるよう、ご依頼ください。

警告

■補聴器や空気電池は飲み込むと窒息の危険を伴います。

- 小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- 小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って補聴器などを飲み込まないように、周囲の人が常に注意してください。

■誤って空気電池を飲み込んでしまった場合は、慌てずにすぐ医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

- 空気電池が消化管に接触し電流が流れると、短時間でも消化管の壁に損傷が起こる恐れがあります。電流が流れ続けると潰瘍ができたり、穴が開いたりする恐れがあります。
- 胃内で空気電池が留まると空気電池の金属皮膜が腐食し、電解液が流出して消化管の壁を損傷する恐れがあります。

■空気電池から漏れた電解液が目に入った場合、失明など障害の恐れがあります。こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

禁止

■補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされていますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴器を聞いたりしないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。

禁止

■下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳を治療中のとき。
- 耳の手術を受けたとき。
- 耳の中に痛み、またはかゆみがあるとき。
- 最近3ヶ月以内に耳漏が生じたとき。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下したとき。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなったとき。
- 耳垢、または異物の集積が明らかなとき。

■病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずすかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、補聴器をはずしてください。
- MRI検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



■補聴器による聴力低下を防ぐため次のことをお守りください。

- 大きすぎる音を出さないでください。
- 喧しいところでは音量を控えめにするか、長時間使用しないようにしてください。

■補聴器は防水ではありません。水などに故意に濡らさないでください。

■補聴器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしたりしないでください。

注意

■ 下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。

- 耳漏が生じたとき。
- 耳の治療が必要になったとき。
- 耳鳴りが生じたとき。
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
- 耳の皮膚が赤くなったり、痛み、痒み、湿疹が生じたりしたとき。
- 使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
- 補聴器の外観、音質、音量などに異常を感じたとき。

■ 空気電池は使い方を誤ると液漏れや発熱、破裂により、けがや補聴器の故障の原因になります。次のことをお守りください。

- 充電しない。
- 分解したり、ショートさせたりしない。
- 加熱したり、火中に投入したりしない。
- 水などに濡らさない。
- 投げつけたり、強い衝撃を与えたりしない。
- 極性(＋と－の向き)を間違えない。

■ 空気電池から漏れた電解液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚に障害を起こす恐れがあります。すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

■ 引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、補聴器を使用しないでください。

注意

■ 取扱いはていねいに

- 補聴器は精密機械です。落したり、ぶつけたりしないでください。
- 汗、皮脂、耳垢などが補聴器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないように注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 化粧水、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取りはずしてください。
- シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
- 補聴器を電子レンジの中に入れないでください。

■ 補聴器は高温や湿気をきらいます。

- 直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
- お風呂やシャワーに入るときは補聴器を必ずはずしてください。
- 台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
- 雨に濡らさないでください。

■ もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったりしたら……

- 水中に落としたときは、空気電池を出してよく水を切り、陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 洗濯機に入れたり、海水や汚水に落したりしたときは、空気電池を出して真水で洗った後、よく水を切り陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、空気電池を出して、補聴器を乾燥ケースで乾燥させてください。

注意

■電磁波が発生するところについて

- ラジオ・テレビの放送所、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ・IHクッキングヒーター、超音波洗浄機・超音波センサーなどを使用しているところだと、放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。補聴器の故障ではありません。補聴器をとりはずすか、その場所から離れてください。

■携帯電話について

- 携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては補聴器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

■補聴器や電池がご不要になった場合

- ご不要になった補聴器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。
- 使用済みの電池は、自治体指定の方法で処分するか、お近くのボタン電池回収協力店へお持ちください。

■補聴器を使用しないときは、空気電池を補聴器から出して保管してください。

- 空気電池を補聴器に入れたままにすると空気電池が液漏れや膨張をおこし、故障の原因になることがあります。
- 万一電池が破損し、電解液に触れたときはすぐに洗ってください。

付属品の確認

ご使用になる前に、付属品が全て揃っていることを ☐ に ☒ を
いれて確認してください

☐ お試し空気電池【1個】※



ご注文時の仕様により
サイズが異なります。

☐ マグネット棒【1本】



☐ 掃除ブラシ【1本】



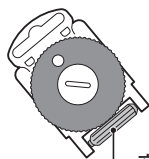
☐ 保証書【1部】※



☐ 取扱説明書【1部】(本書)



☐ 交換用耳垢プロテクタ【1袋】
耳垢プロテクタ交換ツール※



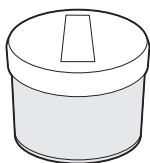
交換ツール

ご注文時の仕様により
形状が異なります。

☐ 補聴器早わかりガイド
【1部】



☐ 乾燥ケース【1個】



☐ 化粧ケース【1個】



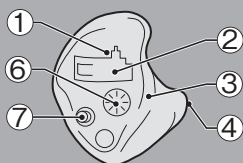
※両耳でのご注文の場合は2つ付属されます。

付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

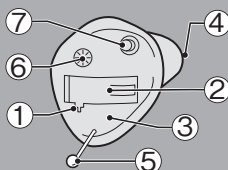
各部の名称

お買い求めの補聴器の ☐ にチェック ☒ を入れてください。

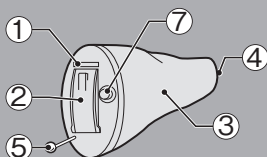
☐ LS タイプ



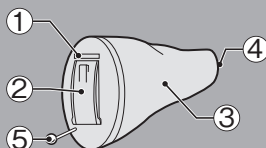
☐ CT タイプ



☐ MC タイプ



☐ CIC タイプ



① 音の入口 ② 電池室 (17ページ参照)

③ シェル ④ 音の出口

⑤ 取出し用テグス

⑥ ボリューム (22・24ページ参照)

⑦ プッシュボタン (23・25ページ参照)

(⑤、⑥、⑦はオプション仕様のため、ない場合があります。)

また、③シェルは耳の形により形状が異なります。)

⑤音の出口には、耳垢の侵入を防ぐ「耳垢プロテクタ」を装着してあります。耳垢プロテクタは仕様により下図の2種類があります。お買い求めの補聴器に使用されている耳垢プロテクタにチェック ☒ を入れてください。

☐ スモールクリネット



☐ クリネット



電池の取扱い

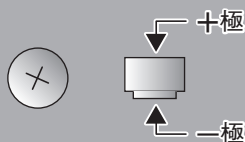
■ 電池は、補聴器用空気電池をご使用ください。

補聴器の形式により使用する空気電池のサイズが異なります。お買い求めの補聴器に使用する電池サイズにチェック

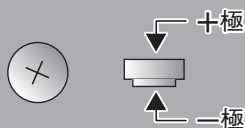
☒ を入れてください。

※補聴器用空気電池は、乾電池と＋が逆で、出っ張りが－、平らが＋です。

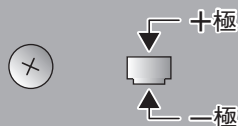
☐ PR48(13)型



☐ PR41(312)型



☐ PR536(10A)型



原寸大

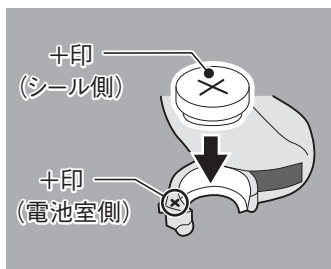
i 電池が小さくて掴みづらい場合は、付属のマグネット棒に付けて持ち上げてください。

マグネット棒



■空気電池の入れ方

- ① 補聴器の電池室を開きます。
- ② 電池室と空気電池の "+" 表示が一致するように、開いた電池室に空気電池を入れます。
(空気電池を斜めに入ると入れやすくなります。)



⚠ 注意

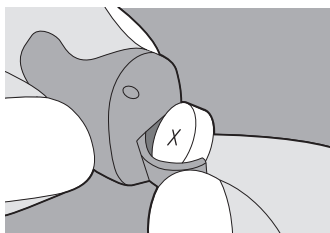
空気電池を逆向きに入れないでください。

空気電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとしないで空気電池の "+" "—" の向きと空気電池のサイズを確認してください。

空気電池を無理に入れてしまうと電池室が開かなくなったり、空気電池が液漏れや膨張をおこしたりして、故障の原因になることがあります。また、シェルや電池室の破損の原因にもなります。

■空気電池の取出し方

- ① 補聴器の電池室を開きます。
- ② 空気電池を取出します。
(空気電池を斜めに入ると取出しやすくなります。)



■電池について

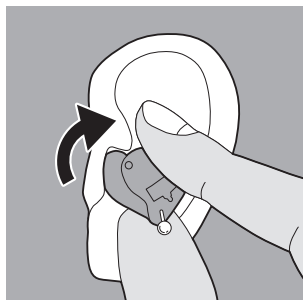
- 補聴器用の空気電池を使用してください。
- 空気電池は、電池シールをはがしてから約1分後に使用可能になります。
- 空気電池は、使用するときには電池シールをはがしてください。一度、電池シールをはがすと、使用していなくても電池寿命は短くなります。
- 常に予備の空気電池を携帯しましょう。
- 空気電池を携帯・保管する際は、小銭やクリップなどの金属製のものに触れないようにしてください。
- 冬場など空気電池が冷えてしまった場合は、人肌で暖めてからご使用ください。
- 空気電池の寿命は、補聴器の設定や使用する電池の種類、周囲の環境（低温・乾燥・多湿・二酸化炭素量）によって変わります。
- 特に冬場は、空気電池が苦手な空気の乾燥、ストーブなどによる二酸化炭素の増加、気温の低下が重なり、電池性能（電池寿命）が大幅に低下する場合があります。
- 補聴器を使用しないときは、空気電池を補聴器から出して保管してください。入れたままにすると空気電池が液漏れや膨張をおこし、故障の原因になることがあります。
- 空気電池は乾燥ケースの中に入れてください。補聴器を乾燥ケースに入れるときは、空気電池を補聴器から取出してください。
- 使用前の空気電池は、常温で保管してください。直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での保管はおやめください。高温多湿な環境での保管は漏液の原因になります。

装用の仕方

■耳に入れます

LS、CTのとき

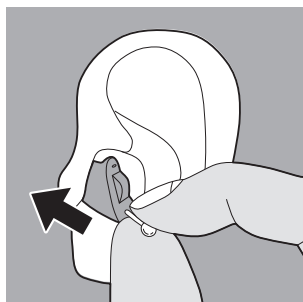
補聴器の上下が変わらないようにして、耳に入れます。後ろに回すようにすると入れやすくなります。納まりのよいところで止めます。



❶ うまく入らないときは、耳たぶを後ろにひっぱりながら入れてください。

MC、CICのとき

耳に入れる前に補聴器の上下を確認します。取出し用テグスがついている方が下側です。補聴器の上下が変わらないようにして、耳にまっすぐ入れます。



⚠ 注意

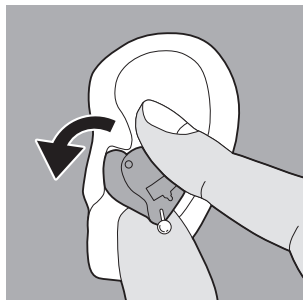
無理に強く押し込むことはしないでください。

上手に装着できないときはお買い求めの販売店にご相談ください。

■ 耳から外します

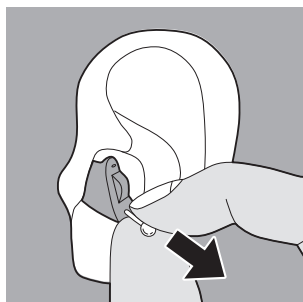
LS、CTのとき

1. 取出し用テグスをつまんで補聴器を引き出します。
(取出し用テグスのない場合は、補聴器を下から上へ押し上げるようにすると取出しやすくなります。)
2. 補聴器の上部を耳の外に出し、前に回すようにすると、取出せます。



MC、CICのとき

補聴器の取出し用テグスを引っ張り、取出します。



⚠ 注意

補聴器を取出す際に、電池室やボリューム(オプション)、プッシュボタン(オプション)を引っ張らないでください、補聴器の破損や動作不良を起こす危険があります。

操作の仕方

■ 電源の入れ方と切り方 (□にチェック☑を入れてください。)

☐ 電池室を利用して

電源を入れる：空気電池を入れ電池室を完全に閉じます。

電源を切る：電池室を十分に開きます。

- 電池室を開閉するときは、開けた後3秒以上経ってから閉めてください。

☐ ボリューム(オプション)を利用して

電源を入れる：ボリュームと補聴器の黒点をずらします。

電源を切る：ボリュームと補聴器の黒点を合わせます。



※ 左耳は、反時計回りになります。

- クリック感とともに電源がオン/オフいたします。

i 補聴器の電源が入るとメロディーが流れてお知らせします。

☐ プッシュボタン(オプション)を利用して

電源を入れる: ボタンを長押し(3秒)してください。補聴器がスリープモードになります。

電源を切る: 補聴器がスリープモードのときにボタンを長押し(3秒)してください。



- i** ● スリープモードとは、補聴器から音を出力させない待機状態のことです。そのため微弱電流を消費します。
- スリープモードの設定は、有効/無効を選ぶことができます。
 - スリープモードが設定・解除されるとお知らせ音でお知らせします。(電源が入る際のメロディーとは異なります。)
- お買い求めの販売店にて変更することができます。

☐ リモコン(別売)を利用して

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

■ 音量の調節 (☐ にチェック ☒ を入れてください)

この補聴器の音量はお客様の聴力に適した音量に自動的に調節されます。手動で補聴器の音量を調節することもできます。

- ① ● 音量の変化幅を変更したり、音量の変化を無効にしたりできます。
- 音量を調節したとき、お知らせ音でお知らせすることができます。
- いずれの場合もお買い求めの販売店にご依頼ください。

☐ 自動調節

補聴器の音量は自動的に調節されます。音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。お買い求めの販売店にご依頼ください。

☐ ボリューム(オプション)を利用して

耳に装着して前方に回すと音が大きくなります。

右耳用は時計回りに、左耳用は反時計回りに回します。聞きやすい音量になるように調節します。ボリュームは指先を軽く押し付けるようにして回してください。



⚠ 注意

音量を調節しても音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。お買い求めの販売店にご依頼ください。

☐ リモコン(別売)を利用して

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

■プログラム(聞こえ)の選択

(☐にチェック ☒を入れてください。)

補聴器には、聞こえの設定を最大4つ保存することができ、聞こえの状況や周囲の環境に合わせて設定を変更することができます。

補聴器の電源を入れると、常にプログラム1が呼び出されます。

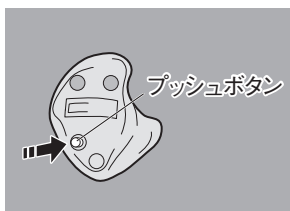


- プログラムの設定は、ご要望に合わせて調整できます。
- 【プログラムの選択】機能を無効にすることもできます。
- プログラムを切り換えたとき、お知らせ音でお知らせできます。

いずれの場合もお買い求めの販売店にご依頼ください。

☐ プッシュボタン(オプション)を利用して

ボタンを押すと設定されたプログラムが順番(1→2→3→……→1)に切り換わります。



スリープモードを有効にしていると、ボタンの長押しで補聴器はスリープ状態になり音が出なくなります。再度長押しするか電源を入れなおすとスリープ状態が解除され音が出ます。

詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

☐ リモコン(別売)を利用して

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

■テレコイル(オプション)

テレコイルとは、磁気によって音声信号を拾う機能です。
電話機や磁気誘導ループ※¹が設置されている場所で必要な音声信号を周囲の雑音にさえぎられることなく、補聴器から聞くことができます。


※¹ 磁気誘導ループシステムを利用できる
施設には右記のようなマークがあります。



① テレコイル機能については、お買い求めの販売店にご相談ください。


■電源の遅延動作

- 補聴器の電源を入れてから時間(6秒、12秒、18秒)をおいて音を出すことができます
- この機能を使用すればハウリング音(ピーピー音)を聞くことなく補聴器を耳に入れることができます。

 電源ONのお知らせ音は、補聴器の電源を入れたときにメロディーがながれ、設定時間を経過してから周囲の音が聞こえます。
電源の遅延動作の設定は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■空気電池が消耗したとき

- 空気電池が消耗すると音が段階的に小さくなります。このときは新しい空気電池に交換してください。
- 補聴器から音が聞こえなくなった後、一旦電池室を開けて閉めると、再び聞こえることがありますが、長くはご使用になれません。
- 古い空気電池を入れたままにすると、空気電池の液漏れや膨張をおこすことがありますので、必ず取り出してください。

 空気電池が消耗したときにお知らせ音でお知らせすることができます。
お買い求めの販売店にご依頼ください。



補聴器の調整によっては、お知らせ音が十分に聞こえない場合があります。

アクセサリ

■ リモコン (別売)

● miniPocket

補聴器のプログラムの選択、音量の調節を手元でおこなうことができます。

詳しい情報と操作方法は、お買い求めの販売店に相談するか、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



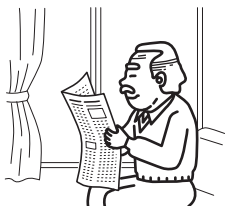
miniPocket

❶ 他の人のリモコンで補聴器の設定が変わってしまう場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

補聴器に慣れるためのアドバイス

補聴器に慣れる必要があります。いろんな場所で聞いてみましょう。

- ☐ 静かな部屋を使用して、補聴器をつけることと音に慣れてください。新聞や本などを声を出して読んで、自分の声に違和感がなくなるまで、自分の声を聴く練習をします。



- ☐ 静かな部屋で1人の身近な人と話をする練習をします。



- ☐ 4～5人の人たちの会話を聞き、どの人が話をしているのか聞き分ける練習をします。



- ☐ 単に聞くだけではなく“聞こう”とする意欲が大切です。



- ☐ 戸外で、いろいろな音を聞いて、何の音が聞こえるか練習します。



補聴器は初回の調整だけでは完成しません。
気になる点があれば、お買い求めの販売店に相談しましょう。

補聴器の設定

お買い求めの販売店で、補聴器の仕様や補聴器に設定されているプログラムを下記の表に記入してもらってください。

(☐ にチェックを☒ 入れてください)

空気電池や耳垢プロテクタのご購入の際や環境プログラムをどのようなときに選択すればよいのかを判断するのにご利用ください。

補聴器			
シェルタイプ	<input type="checkbox"/> LS	<input type="checkbox"/> CT	
	<input type="checkbox"/> MC	<input type="checkbox"/> CIC	
空気電池	<input type="checkbox"/> PR48(13)型	<input type="checkbox"/> PR41(312)型	
	<input type="checkbox"/> PR536(10A)型		
耳垢プロテクタ	<input type="checkbox"/> スモールクリネット	<input type="checkbox"/> クリネット	
電源の遅延機能	<input type="checkbox"/> 18秒	<input type="checkbox"/> 12秒	<input type="checkbox"/> 6秒 <input type="checkbox"/> 無効
スリープモード	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効	

リモコン	
形 式	<input type="checkbox"/> miniPocket

お知らせ音		
電源のON	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
環境プログラムの切り替え	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
音量調整	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
音量調整の限界	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
電池容量の警告	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効

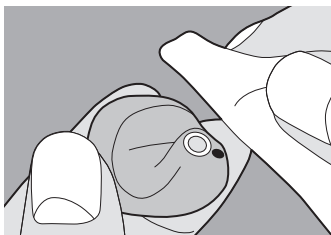
環境プログラム(聞こえの) 設定	
プログラム番号	プログラム内容・使用環境
1	
2	
3	
4	

これら設定の変更は、お買い求めの販売店にご相談ください。

お手入れの仕方

- 補聴器は常に清潔にしておいてください。

- 補聴器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。



- 補聴器のご使用後は、補聴器を乾いた布で拭いたあと、空気電池を出して電池室を開けたまま乾燥ケースの中で乾燥させてください。空気電池も汗を拭き取ってください。(特に梅雨、夏場は水分や汗が補聴器の中に入りやすくなります。)



補聴器を乾燥ケースの中に

いれたら、蓋をしっかりと閉めてください。蓋が閉まっていないと乾燥効果を十分に得られません。

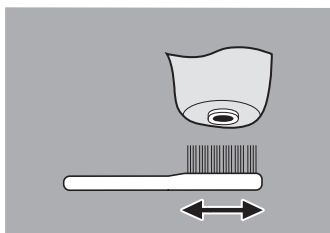
※空気電池は乾燥ケースの中に、決して入れないでください。

- ① 乾燥剤の色が白く変わっている場合、乾燥効果を十分に得られません。

その場合、新しい詰め替え用に交換してください。

湿気の状態にもよりますが乾燥剤は3ヶ月を目安に交換してください。(梅雨、夏季は1ヶ月が目安です。)

- 音の出口が詰ったときは、耳垢プロテクタを新しいものと交換してください。(34ページ参照)
- 音の入口、音の出口の掃除方法は、付属の掃除ブラシで音の出入口についた汚れを落とします。耳垢が中に入り込まないように掃除ブラシを上向き、音の出入口を下向きに掃除します。



図は音の出口

⚠ 注意

故障の原因になりますので、音の入口/出口には、ピンなどを差し込まないでください。

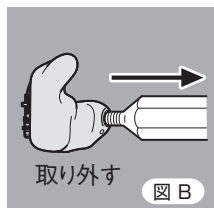
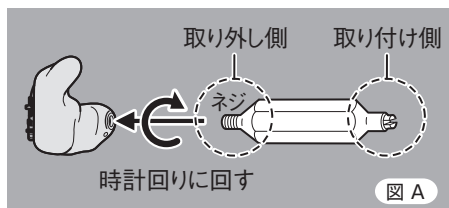
- 毎日のご使用後汚れをクリーニングするようお勧めします。耳垢プロテクタに耳垢が詰ったり、外れてしまったら、再使用せず新しいプロテクタを取付けてください。

■ 耳垢プロテクタ「スモールクリネット」/「クリネット」の交換方法

(仕様によりクリネットを使用していない場合もあります。)

1) 古いクリネットの取り外し方

- ① 付属の耳垢プロテクタ交換ツールのネジの側を補聴器のクリネットにねじ込みます。(図A)
- ② ひと山ほどくい込ませ交換ツールを引っ張って外します。(図B)



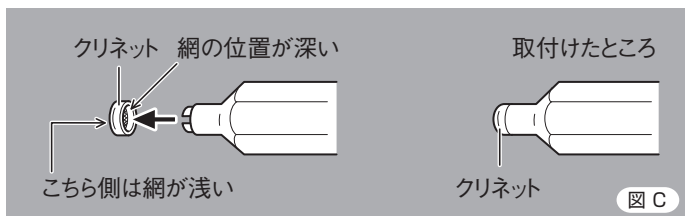
⚠ 注意

クリネットは、消耗品です。

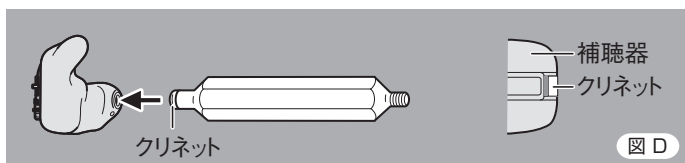
取り外したクリネットは再使用できません。必ず新しいクリネットをご使用ください。

2) 新しいクリネットの取り付け方

- ①交換ツールのハトメのある方に新しいクリネットをはめます。
クリネットには網の位置が深い方と浅い方がありますので、
深い方にはめ込んでください。(図C)



- ②新しいクリネットを元のところに補聴器の面と同じ高さになるまではめ込みます。(図D)

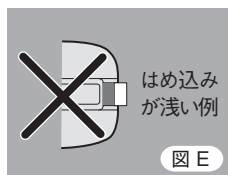


- ③交換ツールを引き抜きます。クリネットは補聴器に取り付けられたままになります。

⚠ 注意

クリネットのはめ込みが十分でない
と使用中に、はずれてしまう恐れが
あります。十分入っているか必ず
確認してください。(図E)

万一、耳の中でクリネットが脱落し、
耳の中に残ってしまった場合は、耳鼻咽喉科医師に相談
してください。



交換用のクリネット(16個入り)は別売しております。販売店で
お求めください。

故障かなと思われたときは

補聴器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。

1 補聴器が汗や水分に濡れましたか？

はい

空気電池を取り出した補聴器を乾燥ケースに入れて乾燥させてください。(32ページ参照)

いいえ

2 空気電池が消耗していませんか？

はい

空気電池を交換してください。(17ページ参照)

いいえ

3 音の出口が詰まっていますか？

はい

音の出口をクリーニングしてください。(33ページ参照)
耳垢プロテクタが目詰まりや、消耗しているときは、新しいものと交換してください。(34ページ参照)

いいえ

4 正しく耳に入っていますか？

いいえ

正しく耳に入れ直してください。(20ページ参照)

はい

お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

■動作、保管と輸送について

補聴器をご使用する際は下記の条件を確認してください。

	動作中
温度	0～50℃
湿度	5～93%

長期間の輸送と保管には下記の条件を確認してください。
保管する際は、補聴器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

	保管	輸送
温度	10～40℃	-20～60℃
湿度	10～80%	5～90%

電池の保管・輸送条件は異なります。電池と一緒に長期間の保管・輸送をしないでください。

アフターサービスについて

- 保証書（別に添付してあります。）

保証書には必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入があることを確かめの上で、大切に保管してください。

- 保証期間中、修理依頼されるとき

恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。

保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有料修理になります。

補聴器本体の保証期間は保証書をご確認ください。

シェル再作の保証期間は12ヶ月です。

補聴器本体とシェル再作の保証期間は異なります。

- 保証期間経過後の修理について

お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

- 部品の保有期間

この補聴器の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年間です。

- その他のお問い合わせは……

アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店までお問合せください。

製造販売業者：シバントス株式会社

住 所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
三機大和ビル 6F

TEL 0800-888-0303 FAX 0800-888-4133

※フリーコールにつながらない場合は、下記番号まで
お問合せください。

TEL 046-289-0303 FAX 046-407-1133

Sivantos GmbH
Henri-Dunant-Strasse 100 91058 Erlangen Germany



* 1 0 5 3 9 5 1 7 *

キ -10539517 / Rev.A 2019.4